

2013年9月25日発行

♥ 「NPO助成金講座」

内容 申請書を審査する立場から、助成金についてお話をしていただき、助成金を獲得するノウハウを学びます。

講師 松井 真理子氏

(NPO 法人市民社会研究所代表、四日市大学教授)

日時 10月2日(水) 午前 10時~12時

場所 いなべ市市民活動センター

参加費 無料

主催 いなべ市市民活動センター

申込・問合せ先 いなべ市市民活動センター

TEL 0594-74-5806 FAX 0594-74-5834



♥ 「いなべ・東員発 市民活動・NPOのためのお悩み解決」

内容 お金がない！会員がない！を解決するヒント勉強会

講師 服部 則仁氏(みえNPOネットワークセンター 代表理事)

事例発表 特定非営利活動法人こどもぱれっと、特定非営利活動法人生ごみリサイクル思考の会

日時 10月24日(木) 午前 10時~12時

場所 いなべ市市民活動センター

主催 特定非営利活動法人みえNPOネットワークセンター

申込・問合せ先 同上 TEL 059-222-5995 FAX:059-222-5971

共催 とういんボランティア市民活動支援センター、いなべ市市民活動センター、
特定非営利活動法人みえきた市民活動センター

★★★ 来年度の活動資金の助成は、もうはじまっています。

ホームページで搜すと、けっこういろいろな助成制度に出会えますよ。

(内容は直接ご自分で確認してくださいね ^^;))

●いろいろな助成制度を紹介しているホームページ

NPOWEB NPO 法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会 <http://www.npoweb.jp/>

日本財団 助成制度一覧 <http://fields.canpan.info/grant/>

* 本誌4ページに現在募集中の情報を紹介しています

♥♥♥ みんなのきらきら☆らじお 第 65 回は、10月1日(火) 午前10時から ♥♥

今回のテーマは、「防災」です。^^; <http://bit.ly/tKvSNI>

気ままに☆きらトークのゲストは、防災ネットとういんの川島浩さん、桑名防災支援ネットの川瀬みち代さん。イベント情報のゲストは、子育てサロンさくらんぼの近藤美奈子さんです。

桑名女性ネットワークの水谷美保さんのコーナー、新井さんの「教室の運営方法について学ぼう」、白尾さんの「きらきらするSNS」、いなべこども活動支援センターの木下さんによる朗読「幕末・維新桑名藩シリーズ 34 東海道の通行」、川戸さんのエピソード演奏、助成金・講座情報などを予定しています。

今回もゲスト、話題が満載。ごちゃごちゃで楽しい、きらきら☆らじお です。^^;

♥♥♥ 前回、9月3日みんなのきらきら☆らじお第 64 回の内容はこんなでした ♥♥

コーナーごとの一覧はこちらから <http://blog.canpan.info/miekita/archive/186>

Ustream の全体録画はこちら <http://www.ustream.tv/recorded/38170123>

★「人間が人間らしく暮らせる社会になっていない。」

「環境」気ままに☆きらトーク前半(16'44")

ゲスト 新海洋子さん(中部環境パートナーシップオフィス)

★「すでに破綻している。何を語っていいかわからない」

「環境」気ままに☆きらトーク後半(23'26")

ゲスト 清水義孝さん(藤原岳自然科学館)

★アゲッキー、いなべ市阿下喜町のゆるきゃらさんが活躍しています。(13'51")

ひとつ星の思い ひとりで活動してみえる方の思いを聞きます

ゲスト アゲッキーのマネージャー 多湖さん

★持込企画 旧多度西小学校跡地活用 (20'42")

来春、夢を育み夢を実現する、想像力と創造力を育む子ども育成塾を開校します

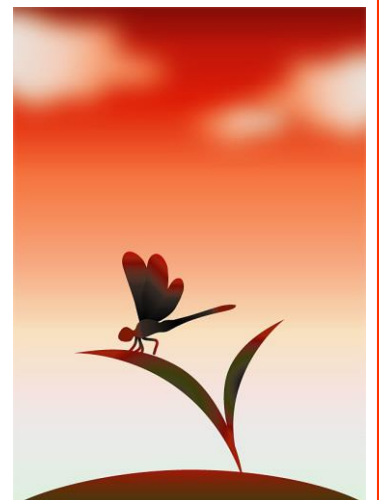
ゲスト 子どもアイデア学工 山上敏樹さん、羽場恵理さん

★「SNS で私的な情報は守られているか、どうすれば上手に使えるか」

きらきらする SNS (12'47")

★「各地の市民活動センター運営委員会、財源と中間支援組織」

市民活動・NPOをめぐるうごきから (03'43")



郷土史家 西羽晃氏の歴史寄稿

幕末・維新の桑名藩シリーズ 33 東海道の通行

明治元(1868)年の明治天皇通行については前回に書いたが、天皇の通行前には大軍が桑名を通過している。東海道筋の福江町に住んでいる町人の角屋・稲川吉兵衛が書いた「豊秋雑筆」には福江町を通る大きな行列を記録している。まず明治天皇の東京行(下り)を控えて、大軍が次々と下っているが、9月に入ってからでは、

慶応4年 9月 5日 五辻殿道中検分、御供大勢下り

天皇の御輿が通るのに、釘貫御門、鍛冶町御門などは高さが差し支えるので、1尺5寸ほど道路面を掘り下げさせている。

明治元年 9月 8日 芸州の大軍下り(この日に明治と改元)

9月12日 備前侯大軍約1000人余下り

9月13日 久留米藩約1000人余下り

9月15日 大洲藩大勢下り

9月25日 天皇の通行

次は天皇が京都へ帰る(上り)ので、10月末から大軍が次々と上っているが、12月に入ってからでも、

明治元年 12月 6日 朝、勅使四条殿上り 薩摩・柳川藩警備
昼、備前侯大軍上り

12月 9日 因州大軍・鍋島侯大軍上り

12月10日 小倉藩大軍上り

12月11日 久留米藩大軍上り

12月12日 勅使五辻殿上り 鍋島侯・久留米侯警備

12月13日 鍋島侯上り、醍醐殿・五条殿・沢殿上り

12月15日 薩摩藩大軍上り、正親町三条殿下り

12月16日 広幡殿上り

12月17日 柳川侯・鍋島侯大軍上り

12月19日 明治天皇上り

これら大軍の行列は笛や太鼓を鳴らし、勇ましく行進し、付近の人たちを驚かした。桑名宿では大軍を受け入れ、船・人足・馬の提供、宿舎の手配をしているのである。そもそも江戸時代の東海道宿駅制度は、江戸幕府が定めた制度である。江戸から京都・大坂までに宿駅を定め、各宿駅では人足と馬を提供する制度である。人足と馬を提供するために各宿駅では問屋役の元に伝馬年寄などの役人が設けられ、桑名や宮(熱田)などの渡船場では問屋役の元に舟年寄が置かれた。この役人はその土地の民間人が幕府から任じられた。その土地の領主の管理でなく、幕府の道中奉行の管理であった。いわば国営の事業であった。政権が明治新政府に移って宿駅制度はどう変更されたのだろうか。

新政府は慶応4(1868)年1月に幕府の道中奉行の替わりに、駅遞寮を設けた。その後、駅遞寮の組織は次第に固まっていくが、日々東海道を通行する人は多いので、過渡期には大混乱であったと推測される。桑名城が開城し、桑名藩の土地は新政府の管理下に置かれた。同年閏4月には、桑名町の組織、桑名宿の組織は従来のままと新政府から通達されている(「公文録」)。幕府や桑名藩が無くなっても、民間人の組織が無くなったわけでない。だから桑名宿での船・人足・馬の提供は従来通りに行われたのである。

幕末から物価が高騰しており、従来の値段で船・人足・馬の提供は難しくなり、新政府は慶応4年5月には人足・馬の値段を元値段の6.5倍にした。七里の渡しの渡船料は同年7月に元値段の3.5倍にした(「太政類典」)。この場合の元値段とは正徳元(1711)年に幕府が定めた値段で、幕末にかけて次第に高くなっていた。

参考文献 「豊秋雑筆」(鎮国守国神社所蔵)
「公文録」(国立公文書館所蔵)
「太政類典」(国立公文書館所蔵)

♥♥♥ 助成金情報 ♥♥♥

●大阪コミュニティ財団の、さまざまな分野・事業への助成

主催:大阪コミュニティ財団

助成対象となる団体・事業:1年以上の活動実績を有する非営利団体で、2014年4月1日から2015年3月31日までの間に実施を予定している公益に資する事業。

締め切り:2013年11月29日(金)(当日の消印有効)

http://www.osaka-community.or.jp/contents/grant/grant_guide14.pdf

●第72回リユースPC寄贈プログラム公募のご案内

主催:認定NPO法人イーパーツ

寄贈台数 ノートPC30台、デスクトップPC150台の寄贈を予定しています。

申請期間 2013/9/5 ~ 2013/10/5

<http://www.eparts-jp.org/about/index.html>

●『ワードでつくるチラシ・パンフレットコンテスト』募集

主催:みえイーパーツリユースPC寄贈プログラム実行委員会

大賞商品:ブラザー製インクジェット複合機 MFC-J705D/805D、A4コピー用紙など

応募条件:三重県を活動拠点にして、まちづくりや地域の活性化に寄与する市民活動団体

応募期間 平成25年9月1日(日)~平成25年11月30日(土)まで

<https://www.facebook.com/mie.eparts.reusepc>

●損保ジャパン環境財団「環境保全プロジェクト助成」募集

環境問題に取り組むNPO・NGOの皆様の環境保全活動がより充実したものとなるための助成。助成金額は20万円を上限

対象:原則、国内において実践的な活動を行なう取り組みが対象

応募期限は10月31日 <http://www.sjef.org>

●キリン福祉財団「キリン・子育て公募事業」助成募集

テーマ「地域における子育てに関わるボランティア活動」

地域における、子どもに関わる幅広い活動に対し、1団体あたり上限額 30万円を助成

応募申込み受付期間 2013年9月17日(火)~11月10日(日)

助成対象となる活動期間 平成26年4月1日~平成27年3月末日

<http://www.kirinholdings.co.jp/foundation/>

●「第2回 E-ファンドレイジング・チャレンジ」参加団体募集

主催:公益財団法人パブリックリソース財団

集中的に呼びかけを行うことで、オンライン寄付を獲得し、支援者を増やします。

応募要件:オンラインで寄付を集める意欲と、キャンペーンを実施する体制と体力がある。

募集締め切り:2013年10月8日(火)

<http://www.giveone.net/cp/pg/campaign/ChallengePage.aspx>

●損保ジャパン記念財団「NPO基盤資金強化資金助成」募集

募集期間:10月1日(火)~11月15日(金)

<http://www.sj-foundation.org/>

(1)「組織の強化」と「事業活動の強化」の助成

助成金額:1団体50万円上限(総額900万円を予定)

(2)「認定NPO法人取得資金」の助成

助成内容:1団体30万円(総額600万円を予定)。

発行元 (特)みえきた市民活動センター
発行責任者 伊藤 香
事務局 〒511-0088
桑名市南魚町 86 めがね工房ごうじ内
TEL 0594-27-2700 FAX 0594-27-2733
E-mail miekita@mie-kita.gr.jp
<http://www.mie-kita.gr.jp/>